

令和7年度

田無小学校

地域とともにある学校づくり

第5学年

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

## 「わたしたちの田無」

「自分たちの住んでいる田無がこんな街になったらいいな」という気持ちから学習をスタートさせました。自分たちに今からできることはないか考え、地域の人々のためにできる目標を各学級で決めました。

### 1組 にやっと大作戦

Nicot 田無の保育園児たちを招待して、学校の探検や田無小クイズを行いました。入学する学校のことを知ってもらうことができました。活動をふりかえって、見通しをもって計画的に活動しようと、次回に向けての新たな課題ができました。

### 2組 地域のためにゴミ拾い

「自分たちの住む地域をより良くしたい」という思いから、自分たちで何かしようと考え、町にポイ捨てされているゴミを拾う活動をしました。活動後に、疑問に思ったことを調べたり、ゴミ拾いマップを作成したり、学習が連鎖していきました。

### 3組 ハッピーマイル計画

地域の人々を笑顔にするために、できることは何か考え、「地域の子どもたちと一緒に遊んで、笑顔にしよう」という目標を決めました。どんな遊びならできるか、楽しんでもらえるかを考え、準備をしました。富士見幼稚園の年長さんたちを田無小学校に招待し、しっぽ取りや玉入れなどの遊びを一緒に行いました。実際に行ってみて、1年生のお世話をすることや、下級生との関わり方を工夫するなど、新たな目標ができました。

### 4組 田無よいところマップ

田無のよいところを、地域の人に知ってもらいたいと考え、おすすめのお店や場所を紹介する「よいところマップ」を作成しました。お店に取材にうかがったり、施設の写真を集めたりしました。田無の人に元気を出してもらいたいという気持ちから、駅やアスタの付近であいさつしながら、完成した地図を配布する活動も行いました。地域の方から、たくさんの優しい言葉をもらい、田無が素敵な町であることを、改めて実感していました。

田無の将来について考え、よりよい田無になるために、今の自分たちにできることを様々な方法で取り組みました。どの活動でも、学校外部の人との関わりを通じて、子どもたちが、地域や自分の将来について考えるきっかけとなりました。このきっかけから、新たな課題を見付け、解決していく子どもたちの学習は、これからも続いていきます。